

「鑑賞学習と教具に関する調査」の
回答方法および調査結果の取り扱い等について

(研究代表者) 東北大学 電気通信研究所
博士課程後期 臼井昭子

(共同研究者) 東北大学大学院 教育情報学研究部
准教授 佐藤克美

各 位

私たちは、「美術教育とデジタル教具」に関する研究を行っている東北大学のチームです。その研究の一環として、この度、「鑑賞学習と教具に関する調査」を行うことになりました。このアンケート調査では、普段の鑑賞学習ではどのような教具を活用しているのかなどについて、選択式と一部記述式で質問しています。

ご回答頂いた内容は、今後の鑑賞用デジタル教具のあり方に示唆を与える資料として、また新しい教具の開発における基礎資料として活用していきたいと考えております。ご多忙中に誠に恐縮ではございますが、美術教育発展のため趣旨を理解いただき、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

期日: 2016年7月29日(金) 深夜24時まで

所要時間は、自由記述の量によって違いが生じますが、選択式の項目のみで計約10分、記入式や自由記述を含めると20分以上と想定しています。

結果は統計的に処理されます。その結果から、個人が特定されることや回答者に不利益が及ぶことはありません。また、回答内容が研究以外の目的で利用されることはありません。

答えられない、または答えたくない設問は飛ばして頂いてかまいません。

<次ページへ>

<回答するにあたっての留意点>

*本調査では、「教材」と「教具」について、以下の例のように定義しております。

教材

例) ピカソの青の時代 に関する
例) 万博のポスター を

教具

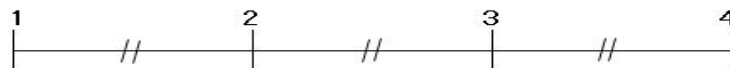
DVD を大型ディスプレイ で鑑賞する
資料集 で鑑賞する

*美術科教員になって2年目以降の方は、昨年度の結果等でお答え下さい。

1年目の方は「年間計画」に基づいてお答えください。

*4択の場合、各回答の間隔は同じ程度だと考えて下さい。

例) 1と2の程度差と3と4の程度差は、同じくらいの感覚的な差がある。



1 あてはまらない 2 あまりあてはまらない 3 ある程度あてはまる 4 よくあてはまる

<調査拠点>

〒 980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院教育情報学研究部 佐藤研究室

<お問い合わせ先>

WEB ページのお問い合わせフォームをご利用下さい。